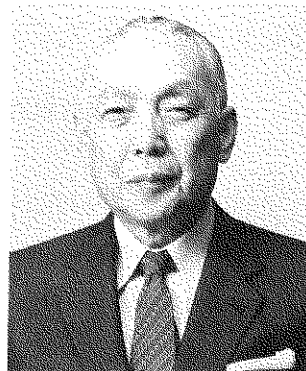


就任ご挨拶



会長 古本次郎
旭硝子(株)取締役社長

この度、皆様方のご推挙によりニューガラスフォーラムの会長の任に就くことになりました。

大変未熟者ではございますが、3人の副会長の方々とご相談をし、また会員の皆様のご意向をよく承り、さらには通商産業省のお考えに沿って、大任を果たしたいと存じますのでよろしくご支援のほどお願い申し上げます。

先ごろ開かれました第1回通常総会にも報告されました通り、ニューガラスフォーラムは昨年の新発足以来順調な活動を続けている様に思われます。

この事は、任意団体の頃を含めて約3年間、鈴木前会長がその卓越した識見と情熱を注ぎこまれた結果であり、鈴木前会長のご尽力に対し皆様と共に改めてお礼申し上げる次第でございます。

さて、今世紀の初頭にある賢人が、「20世紀は鉄とガラスの時代である」と言ったそうでございます。翻って考えてみますと、確かに「鉄の時代」は到来したと思いますが、「ガラスの時代」は未だ来たらずというところがございます。

しかし、昨今皆様ご存じのように、ニューガラス産業は今世紀末には約2兆円の産業になるという予測が出され、また関連産業の技術開発の進展如何によっては、さらに大きなマーケットも期待できる等、ここに来て急速に曙光を浴びはじめております。我々は、ここで何としても産・官・学一体となってこの流れをつかみ、確かなものにして行く責務を負っているものと考えております。

最近帰国した海外調査団によれば、このことは国際的にも非常に注目されているということでございます。ニューガラスという新素材のビジネスを成功させることは、我が国の

産業に新たな活路を与えるとともに、国際社会に対する我が国の大きな貢献になると考える次第でございます。

しかし、現在のニューガラス産業の規模は3000億円程度で、まだまだ研究開発に大いに注力していかなければならない段階にあります。そのためには国の一層のご理解とご援助をお願いし、特に次世代プロジェクトによる助成策を是非お願い致したいと存じます。

一方、我々といたしましても、ニューガラスフォーラムの活動において、

- ニューガラスのフィールドの拡大
- ニューガラス技術基盤の整備拡充
- 会員相互のコミュニケーションの活発化
- 国際的協調

等に努力し、本フォーラムをより活性化してゆくことに努める必要があると考えております。

このためには、本フォーラムの会員の増加と財政基盤の一層の充実にあたらなければならないと考えております。また関係省庁との連絡をさらに密にして会の運営を行うことに致したいと存じます。

皆様方の一層のご指導、ご鞭撻をお願いして、就任のご挨拶と致します。